

名作展

源流

への

まな

ざし

2025

12/6 [土]



2026

3/8 [日]



■開館時間 9:00～16:30（入館は16:00 まで）

■休 館 月曜日（1月12日（月・祝）、2月23日（月・祝）は開館し、その翌日に休館）
年末年始（12月29日（月）～1月3日（土））

■入 館 料 一般200円、中学生以下100円

※65歳以上（要証明）、未就学児及び障がい者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

大田区立龍子記念館

〒143-0024 東京都大田区中央 4-2-1

ハローダイヤル 050-5541-8600



Ryushi Memorial Museum

Kawabata Ryushi Exhibition | December 6, 2025 - March 8, 2026

“Challenging the Original: The imagination seen in motifs he depicted”

Kawabata Ryushi (1885-1966) is considered one of the great masters of modern Japanese-style painting. The Ryushi Memorial Museum was planned and designed by Ryushi himself and has a collection of more than 140 of his diverse works.

モチーフ
で見える
川端龍子

2025.12.6 [土] ~ 2026.3.8 [日]

Kawabata Ryushi Exhibition | December 6, 2025 - March 8, 2026

名作展 源流へのまなざし モチーフで見る川端龍子

Challenging the Original: The imagination seen in motifs he depicted



川端龍子《やすらい》1958年、大田区立龍子記念館蔵
Kawabata Ryushi, Peace and Beatitude, 1958



川端龍子《阿吽》1918年、大田区立龍子記念館蔵
Kawabata Ryushi, The A-Um Pair of Lions, 1918

本展では、日本画家・川端龍子(1885-1966)の作品において描かれた対象に着目し、「古典的モチーフ」、「現実にあるモデル」という視点から作品をセレクトしました。もともと洋画家から出発し、挿絵画家の時代を経て、独学で日本画の世界を開拓し続けた龍子が、「古典的モチーフ」、つまり、古くから脈々と描かれてきたモチーフをどのように描いているのか、そして、「現実にあるモデル」では、実在する対象をどのように表現しているのかについて着目した展覧会です。

本展出品の《やすらい》(1958)は、龍子が高野山の快慶《孔雀明王》(鎌倉時代、重要文化財)を見て、平安時代から騎乗の姿で表わされてきた「孔雀明王」を、休息する様子として描き、これまでの仏画にはない龍子独自の創造が表されています。また、《虎の間》(1947)は、京都・南禅寺の狩野探幽《群虎図》(寛永年間、重要文化財)のうち「水呑の虎図」を絵の中に引用し、その襖の手前には龍子自身を描いています。画中の虎は、龍子に睨みをきかせ警戒しているように描かれ、その構図は、虎と対峙する自らを「龍」とする、伝統的な「龍虎図」の構成を取り入れています。

龍子がいかにモチーフを捉え、表現しているか、先例や先人たちの作品、そして対象に向ける龍子のまなざしを、本展出品の作品を通してお楽しみください。



川端龍子《多聞天》1958年
大田区立龍子記念館蔵
Kawabata Ryushi, Tamonten, 1958



川端龍子《虎の間》1947年、大田区立龍子記念館蔵
Kawabata Ryushi, Tiger Room, 1947

※オモテ面掲載画像は上記作品(部分)を使用

龍子公園のご案内

隣接する龍子公園では、国の有形文化財である龍子設計の旧宅と画室を開館日に解説とともにご覧いただけます。

ご案内時刻 (1日3回)

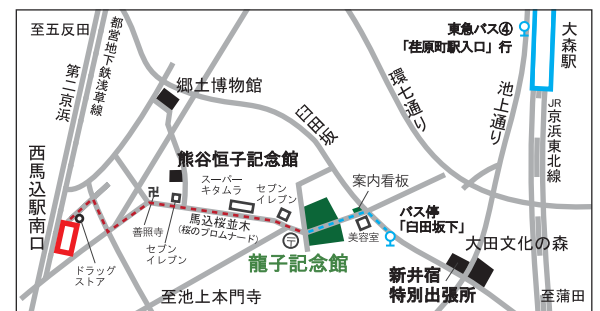
10:00、11:00、14:00に開門します(30分程度)

Ryushi Garden Guided Tour 10:00、11:00、14:00~



画室

当館へのアクセス



● JR 京浜東北線 大森駅西口から東急バス4番

「荏原町駅入口」行乗車「白田坂下」下車、徒歩2分

● 都営地下鉄浅草線 西馬込駅南口から

南馬込桜並木通り(桜のプロムナード)に沿って徒歩15分

Access

Ryushi Memorial Museum

4-2-1 Chuo, Ota-ku, Tokyo 143-0024
TEL: 050-5541-8600

From JR Keihin-Tohoku Line Omori Sta. West Exit, take Tokyu Bus No.4 towards Ebaramachi Sta. Entrance, get off at Usuda-Sakashita bus stop and walk 2min.
15-min. walk from Toei Asakusa Line Nishi-Magome Sta. South Exit

Information

Opening Hours 9:00-16:30 (entrance closes at 16:00)

Admission Adults: 200yen, Minors: 100yen
Children under 6 and seniors over 65 are free

Closing Days Mondays (When a national holiday falls on a Monday, the Museum will be open and close on the following day)

大田区立龍子記念館

〒143-0024 東京都大田区中央 4-2-1

ハローダイヤル: 050-5541-8600

記念館直通: 03-3772-0680

<https://www.ota-bunka.or.jp/facilities/ryushi/>



公益財団法人 大田区文化振興協会

関連イベント

ギャラリートーク

開催日: 12月21日(日)、1月18日(日)、2月15日(日)、
3月8日(日) 各日13:00~

おしゃべり鑑賞会(対話型鑑賞プログラム)

開催日: 12月22日(月)、1月26日(月)、2月16日(月)
各日14:00から

協力: 社会福祉法人 大田区社会福祉協議会

第3回記念館講座「川端龍子と青龍社の女性画家たち」

日時: 2026年2月21日(土) 13:30~15:00

定員: 200名(申込みが定員を超えた場合は抽選)

講師: 大田区立龍子記念館 主任学芸員 木村拓也

参加費: 無料 会場: 大田文化の森 ホール

締切: 2月6日(金) 必着



大田区文化振興協会
募集情報からお申込み
いただけます